



# 脚本で広げる表現の世界

## ～社会に通用するコンセプト力を磨く～

【開催日・場所】

令和7年7月11日(金) 八幡浜市民文化活動センターComican

講師：**小林幸恵**さん (シナリオ・センター 代表)

働く女性を対象に脚本づくりの考え方をとおして職場内でのコミュニケーション力を磨く講座を開催しました。

ドラマや映画の脚本は、作品設定や登場人物の背景などストーリー全体を俯瞰して、それぞれのキャラクターの視点から動作やセリフを客観的に書いています。この手法をもとに、職場で経験したモヤモヤしたシチュエーションを書き記す「シナリオ日記」の体験ワークを行いました。このワークは、自身の体験をシナリオとしてありのまま書き起こし、その状況を冷静に認識しながら想像力を広げることで、相手の言動の真意や自分が本当に伝えなかったこと・言いたかったことに気づくことができます。

人・物事・社会を見る3つの目でシナリオを作るように全体の状況を俯瞰すること、そして、自分と相手の違いを客観的に理解することが、良好なコミュニケーションを築くために大切な要素だということを、セミナーを通して学ぶことができました。

